



## 中間検査チェックシート（軸組工法）

	検査内容		工事監理者欄		検査方法 A：目視検査 B：測定検査 C：監理報告等	適否		備考
	検査項目	内容	照合日	結果		一次	補正	
単体 構造	1, 全体	材料の品質（木材）			A ・ C			
		（木材以外）			C	—	—	
		支持地盤の状況			C	—	—	
		柱、横架材等の位置			A ・ C			
	2, 基礎	構造			A ・ C			
		形状、寸法			A ・ B ・ C			
		床下換気口等の状況			A ・ B ・ C			
		著しいひび割れ			A ・ C			
	3, 土台	材質			A ・ C			
		形状、寸法			A ・ B ・ C			
4, 柱	材質			A ・ C				
	形状、寸法			A ・ B ・ C				
	通し柱又は隅柱補強			A ・ C				
5, 梁、桁等	材質			A ・ C				
	形状、寸法			A ・ B ・ C				
	火打ち材			A ・ C				
	欠き込みの補強			A ・ C				
6, 筋かい等	材質			A ・ C				
	形状、寸法			A ・ B ・ C				
	存在壁量			A ・ C				
	設置状況			A ・ C				
	欠き込みの補強			A ・ C				
7, 床組	材質			A ・ C				
	形状、寸法			A ・ B ・ C				
	床高、防湿方法			A ・ B ・ C				
	火打ち材、剛な床組			A ・ C				
8, 小屋組	材質			A ・ C				
	形状、寸法			A ・ B ・ C				
	火打ち材、振れ止め			A ・ C				
9, 防腐防蟻	防腐防蟻処理状況			A ・ B ・ C				
10, 接合部	基礎と土台			A ・ C				
	柱と土台			A ・ C				
	柱と梁、桁等			A ・ C				
	筋かい等の仕口			A ・ C				
	横架材の継手			A ・ C				
	その他の主要な部分			A ・ C				

## 中間検査チェックシート（枠組壁工法）

	検査内容		工事監理者欄		検査方法 A：目視検査 B：測定検査 C：監理報告等	適否		備考
	検査項目	内容	照合日	結果		一次	補正	
単体 構造	1, 全体	材料の品質, 規格, 寸法			C	—	—	
		支持地盤の状況			C	—	—	
	2, 土台及び基礎	土台の位置			A・B・C			
		基礎の構造			A・C			
		基礎と土台の緊結			A・C			
		床下換気口等の状況			A・C			
		著しいひび割れ			A・C			
	3, 床	転び止めの設置			A・C			
		根太の間隔			A・B・C			
		床開口部の補強			A・C			
		耐力壁下の根太補強			A・C			
		床の枠組と床材の緊結			A・C			
	4, 耐力壁等	耐力壁の配置			A・C			
		交差部の補強			A・C			
		たて枠の間隔			A・B・C			
		頭つなぎの設置			A・C			
		開口部の補強			A・C			
		壁の各部材相互等の緊結			A・C			
	5, 横架材	欠き込みの有無			A・C			
	6, 小屋	たるきの間隔			A・B・C			
たるきつなぎの設置				A・C				
たるき・トラスの金物緊結				A・C				
振れ止めの設置				A・C				
小屋組の各部材等の緊結				A・C				
開口部の補強				A・C				
7, 防腐措置等	防水紙の設置			A・C				
	防腐防蟻措置			A・C				
	金物の錆止め			C				

## RC造 中間検査チェックシート

	検査内容		工事監理者欄		検査方法 A：目視検査 B：測定検査 C：監理報告等	適否		備考
	検査項目	内容	照合日	結果		一次	補正	
① 全体	共通	鉄筋の乱れ、踏み荒らし、波打ちたるみ			A ・ C			
		柱、はり、壁、スラブの位置			A ・ C			
		かぶり厚さの確保			A ・ C			
		鉄筋の材質(共通)			C			
② 地盤・基礎	支持地盤	支持地盤の位置、種類、地耐力等			C			
	基礎形状・種類	基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心			A ・ C			
	ベース	ベース寸法			A ・ C			
		主筋の径、本数、配置、偏心による補強			A ・ C			
基礎ばり	基礎ばりの断面寸法			A ・ C				
	主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、偏心による補強			A ・ C				
	あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強			A ・ C				
③ 柱	主筋(一般階)	柱の断面寸法			A ・ C			
		主筋の径、本数、配置(方向)、偏心による補強			A ・ B ・ C			
		2段筋の位置(間隔)			A ・ C			
	主筋(最上階)	柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフック			A ・ C			
		最上階の主筋のはりに対する定着			A ・ C			
	定着・継手	主筋の継手位置			A ・ C			
		ふかしの大きさによる配筋補強			A ・ C			
	帯筋	鉄筋径、間隔、本数(副帯筋共)及び形状			A ・ B ・ C			
仕口部分の帯筋の配置				A ・ C				
第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置				A ・ C				
帯筋のフック形状、あそび及び結束				A ・ C				
④ はり	はり主筋	はり断面寸法			A ・ C			
		はり主筋の径、本数及び位置			A ・ B ・ C			
		中吊り筋の間隔の確保、長さ			A ・ C			
	定着・継手	はり筋の定着長さ、位置			A ・ C			
		重ね継手の位置、長さ			A ・ C			
		はり筋出隅部の末端フック			A ・ C			

	ふかし、貫通孔補強	ふかしの補強方法、貫通孔補強筋			A	・	C		
	あばら筋	あばら筋の径、本数(副あばら筋共)とピッチ			A	・	C		
		あばら筋のフック形状、あそび及び結束			A	・	C		
⑤ ス ラ ブ	スラブ筋	スラブの断面寸法			A	・	C		
		鉄筋の本数、径、配置(短辺・長辺とベンド配筋)ピッチと支持条件			A	・	B	・	C
	定着・継手	定着の方法と長さ			A	・	C		
		片持ちスラブ筋の定着と上端鉄筋位置の確保			A	・	C		
	補強筋等	床スラブの出入隅部の補強			A	・	C		
		開口部補強配筋			A	・	C		
階段部配筋と補強筋				A	・	C			
⑥ 壁	壁筋	壁断面寸法			A	・	C		
		鉄筋径、配置、鉄筋のピッチ			A	・	B	・	C
	定着・継手	定着の確認(はり、柱、スラブ、壁定着)			A	・	C		
		重ね継手の位置と長さ						C	
	補強筋等	開口部の補強配筋			A	・	C		
壁のスリット(完全・部分)及び配筋				A	・	C			
⑦ そ の 他	ガス圧接継手	圧接部の形状			A	・	C		
		強度確認						C	
	特殊鉄筋継手	継手の施工状況(認定、評定工法)						C	
	その他	コンクリートの調合の確認							C
		型枠の施工状況			A	・	C		
コンクリートの打ち継ぎ面の状況				A	・	C			

## S造 中間検査チェックシート

	検査内容		工事監理者欄		検査方法 A：目視検査 B：測定検査 C：監理報告等	適否		備考
	検査項目	内容	照合日	結果		一次	補正	
① 地盤 ・ 基礎	支持地盤	支持地盤の位置、種類、地耐力等			A ・ C			
	基礎形状・種類	基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心			A ・ C			
	ベース	ベース寸法			A ・ C			
		主筋の径、本数、位置、偏心による補強			A ・ C			
	地中ばり	地中ばりの断面寸法			A ・ C			
		主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、編心による補強			A ・ C			
		あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強			A ・ C			
ガス圧接継手	圧接部の形状			A ・ C				
	強度確認			C				
特殊鉄筋継手	継手の施工状況（認定、評定工法）			C				
その他	コンクリートの調合の確認			C				
② 工場 組 立	材料の品質確認	鋼材、高力ボルトセット、溶接材料の規格・品質			C			
	組立精度の確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度			A ・ C			
	製品検査 1	鉄骨部材の寸法精度			C			
	高力ボルト接合部の処理	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ等			A ・ C			
	工場溶接部分の外観・形状	a)溶接継目の種類（突合せ溶接・隅肉溶接）			A ・ C			
		b)溶接継目のくい違い			A ・ C			
		c)アンダーカット、へこみ等の断面欠損			A ・ C			
d)割れ				A ・ C				
e)その他の溶接部の外観・形状				A ・ C				
製品検査 2	外観検査及び超音波探傷検査結果			C				
③ 現場 組 立	部材の配置	柱、はり、ブレース、床板等の配置			A ・ C			
	部材の寸法・形状	柱、はり、ブレース、床板等の寸法・形状			A ・ B ・ C			
	建方精度	架構の建方精度			C			
	現場溶接部分の組立精度	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度			A ・ C			
	現場溶接部分の製品検査	外観検査及び超音波探傷検査結果			C			
	現場溶接部分の外観・形状	a)現場溶接部の部位			A ・ C			

		b)溶接継目の種類(突合せ溶接・隔肉溶接)			A	・	C		
		c)溶接継目のくい違い、仕口のずれ			A	・	C		
		d)アンダーカット、へこみ等の断面欠損			A	・	C		
		e) 割れ			A	・	C		
		f)その他の溶接部の外観・形状			A	・	C		
④ ボルト接合部	トルシア形ボルト接合	a)現場受入検査(トルク係数値確認・導入張力確認試験)					C		
		b)ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ・縁あき			A	・	B	・	C
		c)締付状態の確認(肌すき・ピンテール破断・マーキングの状態)			A	・	C		
	JIS形六角ボルト接合	a)締付機器の調整、現場受入検査(導入張力確認試験)			A	・	C		
		b)ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ・縁あき			A	・	B	・	C
		c)締付状態の確認(肌すきの有無・マーキングの状態)			A	・	C		
⑤ブレース接合部		ブレース接合部の形式・板厚・材質・補剛材等			A	・	C		
⑥柱脚接合部		a)柱脚接合工法の確認(認定工法)			A	・	B	・	C
		b)アンカーボルトの保持・埋込方法、ベースプレートの材質・形状・板厚			A	・	B	・	C
		c)アンカーボルトの材質・径・本数及び配置			A	・	C		
		d)アンカーボルトの締付状態			A	・	C		
		e)スタッドボルトの径・本数・配置			A	・	C		
⑦床スラブ接合部		a)床構造の形式(合成スラブ)			A	・	B	・	C
		b)シアコネクターの施工状況・検査の結果報告			A	・	C		
⑧帳壁等の接合部		緊結金物の取付状況			A	・	C		